

3、プロセスレス CTP

ジーエスアイ 神永 貴史

2005年製版用資材のフィルムとPS版が17%の値上がりの発表があり、数年前も原油高騰による印刷用紙の値上げもありました。しかし、印刷用紙の値上げ分を印刷代に上乘せすることが出来ませんでした。今回の製版用資材の値上げに対しても印刷代の値上げにはならないとの業界の意見が多数あります。

しかし、この値上げ分をどこかで補填する必要があります。まず、フィルムレスのCTP化への拍車がかかると思います。国内のCTP導入台数は2005年末で3,000台(商印)と推定されています。現在のCTPはProcessorと現像処理のChemicalとを必要とします。CTP用Processorは相当の価格と場所を必要とし、Chemicalの廃棄処理など環境面も考慮しなければなりません。CTP用の**Developerの再生装置**(1)に関し2005年2月にLOGOTEC社のCMS Plateとドイツの印刷企業12社の導入報告を致しました。

最近、Process-free、Chemical-freeのCTP無処理のシステムが発表されています。各社が発表しているCTP Plateは陽極酸化したAl板表面に感光液を塗布したCTP Plateを用い、露光後、印刷機上のH液、インク、損紙で非画線部のエマルジョンを除去いたします。2004年6月18日にdrupa2004報告で**Ink Jet Plate**(2)に関し報告いたしましたが、今回はPrint05で発表された完全Process-free、Chemical-freeの米国のXANTE社の**Impressia Metal Plate Setter**について報告致します。

このシステムはPCからRIPを通じAl板に電子写真方式でトナーにて画像を形成致します。XANTE Impressia Metal Plate SetterにはZ-7 Technologyの特徴があります。

- (1) Metal Imaging Technology; 直接Al板に画像を構成するProcess-Free Wです。
- (2) Aspen Metal Plate Technology; 感光液を塗布していないAl板に画像形成する。
- (3) Radiant Exposure Technology; Aspen Metal Plateに適切な露光を行います。
- (4) Clean Plate Technology; トナーのみの環境で最適です。
- (5) True Adobe Postscript 3; RIPに内蔵しているDTP Operatorで最適です。
- (6) Halftone Calibration Technology; グラデーションとLPIを自由に変換できます。
- (7) More X-ACT; 刷版の位置合わせで画像を水平、垂直方向に移動が出来ます。

トナー粒子の飛散の減少、Al板への転移は電圧調整で行ないます。**Max340×505mm**、耐刷力は25,000枚、解像力150LPIで2,400×2,400dpi、1時間**60枚**の出力が可能です。版面サイズは拡大され、一層高精度になることが期待されます。現在、**Impressia Metal Plate Setter**は米国に35台、ヨーロッパで15台納入されています。

参考文献

- (1) 神永 貴史; 国際印刷大学校研究報告第5巻33P(2005)2005年2月2日PAGEで報告
- (2) 神永 貴史; drupa2004報告 プリプレスの発展、ニッケイ会館(2004年6月18日)

XANTE社のURL; www.impressia.com 連絡先; T&F 043-294-6488